

**2017年3月期 第1四半期決算 要旨**
**連結損益計算書 (要約)**

(億円)	2016年3月期			2017年3月期				
	第1四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	前年 同期比	第2四半期 累計計画	通期計画	前期比
売上高	529	1,543	3,479	706	+33%	1,800	3,800	+9%
営業利益	-94	57	176	30	-	65	200	+14%
経常利益	-87	58	164	29	-	65	200	+22%
税引前当期純利益	-84	40	120	43	-	65	200	+67%
親会社株主に帰属する当期純利益	-79	9	53	41	-	34	100	+89%
1株当たり配当 (円)	-	20	40	-	-	20	40	-
1株当たり当期純利益 (円)	-33.79	4.11	22.90	17.54	-	14.51	42.66	-
1株当たり純資産 (円)	1,286.88	1,310.36	1,257.43	1,215.03	-	-	-	-

**<第1四半期実績>**

- 売上高：706億円、営業利益：30億円、親会社株主に帰属する四半期純利益：41億円
- 前年同期比で増収、大幅黒字転換

**各種費用等の実績**

(億円)	2016年3月期			2017年3月期				
	第1四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	前年 同期比	第2四半期 累計計画	通期計画	前期比
研究開発費・コンテンツ制作費	128	247	580	139	+9%	337	671	+16%
設備投資額	68	125	280	61	-10%	138	277	-1%
減価償却費	41	82	166	39	-5%	77	156	-6%
広告宣伝費	39	93	179	31	-21%	101	198	+11%

**連結貸借対照表 (要約)**

【資産の部】				【負債・純資産の部】			
科目	2016年3月期末	第1四半期末	増減	科目	2016年3月期末	第1四半期末	増減
流動資産	3,022	2,834	-188	流動負債	1,059	977	-82
固定資産	2,306	2,209	-97	固定負債	1,270	1,179	-91
				負債合計	2,330	2,156	-174
				純資産合計	2,999	2,887	-112
資産合計	5,329	5,043	-286	負債及び純資産合計	5,329	5,043	-286

  

科目	2016年3月期末	第1四半期末	増減
自己資本比率	55.3%	56.5%	+1.2pt
流動比率	285.2%	290.1%	+4.9pt

- 総資産：286億円減少の5,043億円
- 流動資産：有価証券（短期運用）及びたな卸資産の増加の一方、現金・預金及び売上債権の減少により、188億円減少
- 固定資産：有形固定資産及び投資有価証券の減少（保有株式時価の下落等）により、97億円減少
- 自己資本比率：1.2ポイント上昇の56.5%
- 流動比率：4.9ポイント上昇の290.1%（2016年3月期末 流動比率：285.2%）

## 遊技機事業

(億円)	2016年3月期			2017年3月期				
	第1四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	前年同期比	第2四半期 累計計画	通期計画	前期比
売上高	98	609	1,410	212	+116%	800	1,570	+11%
内訳								
パチスロ	0	310	611	114	-	521	839	+37%
パチンコ	63	231	668	63	-	210	572	-14%
その他/消去等	35	68	131	35	-	69	159	-
営業利益	-67	84	209	3	-	105	190	-9%
営業利益率	-	13.8%	14.8%	1.4%	-	13.1%	12.1%	-2.7pt
パチスロ販売台数(台)	102	70,260	142,337	29,902	+29,216%	139,300	230,800	+62%
パチンコ販売台数(台)	22,362	79,604	199,014	20,525	-8%	68,000	182,000	-9%

※2017年3月期よりエンタテインメントコンテンツ事業に含まれていた一部事業を遊技機事業に移管しており、2016年3月期実績につきましては遡及処理の内容を反映させております。

### <第1四半期実績>

#### 【全体】

- 主にパチスロにおいて主力タイトルの販売が好調に推移したことから、前年同期比で増収・黒字転換

#### 【パチスロ】

- 前作の魅力をそのままに、新たなゲーム性を加えてコードギアスの世界観を完全再現した『パチスロ コードギアス 逆逆のルルーシュ R2』等の販売が好調に推移したことから、前年同期比で販売台数が増加

#### 【パチンコ】

- 『CRビッグドリーム～神撃99Ver.』、『デジハネCRあしたのジョー』等の前期販売したタイトルをスペック替えした機種の販売が好調に推移し、新作タイトルの投入が少ない中、前年同期並みの販売台数を確保

### <今後の見通し>

#### 【全体】

- 主力タイトルを中心に複数タイトルを販売
- パチスロ・パチンコ共に販売を開始しているタイトルは概ね堅調に推移

#### 【パチスロ】

- 主力タイトル『北斗の拳』シリーズなどの実績あるタイトルの最新作をはじめ、人気シリーズ機を遊びやすいゲーム性に変更したタイトル等の販売を予定
- 主な販売タイトル  
『パチスロ北斗の拳 修羅の国篇』  
『A-SLOT北斗の拳 将』、『A-SLOT偽物語』、『パチスロ BLOOD+ 二人の女王』等

#### 【パチンコ】

- 過去のシリーズ機から一新した液晶演出と新規搭載ギミックを融合させた『ぱちんこCR蒼天の拳 天婦』を中心に、複数タイトルの販売を予定
- 主な販売タイトル  
『ぱちんこCR蒼天の拳 天婦』、『ぱちんこCRガオガオキング2』シリーズ等

## エンタテインメントコンテンツ事業

(億円)	2016年3月期			2017年3月期				
	第1四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	前年同期比	第2四半期 累計計画	通期計画	前期比
<b>売上高</b>	<b>396</b>	<b>859</b>	<b>1,905</b>	<b>467</b>	<b>+18%</b>	<b>930</b>	<b>2,070</b>	<b>+9%</b>
内訳								
デジタルゲーム	104	215	456	120	+15%	240	565	+24%
パッケージゲーム	77	146	423	107	+39%	210	465	+10%
AM機器	87	206	419	103	+18%	200	445	+6%
AM施設	87	189	380	88	+1%	175	355	-7%
映像・玩具	36	95	212	42	+17%	95	225	+6%
その他/消去等	5	8	15	7	-	10	15	-
<b>営業利益</b>	<b>-6</b>	<b>17</b>	<b>42</b>	<b>49</b>	<b>-</b>	<b>10</b>	<b>90</b>	<b>+114%</b>
内訳								
デジタルゲーム	2	9	-4	24	+1,100%	19	80	-
パッケージゲーム	-2	-9	24	24	-	4	16	-33%
AM機器	-4	2	-1	-1	-	-15	-11	-
AM施設	1	13	18	6	+500%	12	14	-22%
映像・玩具	-3	0	6	-1	-	-1	10	+67%
その他/消去等	0	2	-1	-3	-	-9	-19	-
営業利益率	-	2.0%	2.2%	10.5%	-	1.1%	4.3%	+2.1pt
<b>パッケージ販売本数 (万本)</b>	<b>183</b>	<b>328</b>	<b>922</b>	<b>241</b>	<b>+32%</b>	<b>574</b>	<b>1,228</b>	<b>+33%</b>
<b>国内AM施設既存店売上高前年比</b>	<b>101.4%</b>	<b>102.2%</b>	<b>103.1%</b>	<b>111.2%</b>	<b>+9.8pt</b>	<b>101.1%</b>	<b>101.0%</b>	<b>-2.1pt</b>
<b>国内AM施設店舗数</b>	<b>198</b>	<b>198</b>	<b>194</b>	<b>193</b>	<b>-</b>	<b>193</b>	<b>194</b>	<b>-</b>

※2017年3月期よりエンタテインメントコンテンツ事業に含まれていた一部事業を遊技機事業に移管しており、2016年3月期実績につきましては遡及処理の内容を反映させております。

### <第1四半期実績>

#### 【全体】

- デジタルゲーム分野において既存主カタイトルが堅調に推移した他、パッケージゲーム分野やアミューズメント機器・施設分野が好調に推移
- 前年同期と比べて大幅に収益改善

#### 【デジタルゲーム】

- 『ファンタシースターオンライン2』がPlayStation®4版の配信開始により、過去最高となる同時接続数13万人を超える等、好調に推移
- 『チェインクロニクル ～絆の新大陸～』、『ぷよぷよ!!クエスト』、『オルタンシア・サーガ-蒼の騎士団-』等の既存主カタイトルが堅調に推移
- 新作タイトル『蒼空のリベラシオン』を配信開始

#### 【パッケージゲーム】

- 海外において人気を博している『Total War』シリーズの最新作『Total War: WARHAMMER』などの主要タイトルが堅調に推移
- 販売本数は前年同期を上回る241万本

#### 【AM機器】

- 新作タイトル『艦これアーケード』を導入、全国のゲームセンターでプレイ待ちの行列が発生するなど、好調な滑り出し
- 新作タイトル投入に伴う、開発費償却等の費用が発生
- カジノ機器開発や販売に向けた先行費用が発生

#### 【AM施設】

- 施設稼働は既存店売上高昨年度対比111.2%と好調に推移
- プライズにおいて、品ぞろえやスタッフのクオリティ向上等、施設オペレーションを強化し好調に推移
- ビデオゲームにおいて、新作タイトル『艦これアーケード』等により好調に推移

#### 【映像・玩具】

- 劇場版『名探偵コナン 純黒の悪夢 (ナイトメア)』が、前作に続きシリーズ最高興行収入を記録
- 『アンパンマン』シリーズなどの定番・主力製品やサービスを中心に展開

## エンタテインメントコンテンツ事業

## &lt;今後の見通し&gt;

## 【全体】

- デジタルゲーム分野において、既存主カタイトル中心に収益貢献を見込む
- パッケージゲーム分野、アミューズメント機器・施設分野にて引き続き収益性の向上を目指す

## 【デジタルゲーム】

- 既存主カタイトルを中心にアップデートやイベント開催により収益貢献を目指す  
『ファンタシースターオンライン2』各種イベント開催  
『チェインクロニクル ～絆の新大陸～』3周年イベント開催、新ストーリーの追加  
『ぷよぷよ!!クエスト』大型アップデート、各種イベント開催  
『オルタンシア・サーガ -蒼の騎士団-』コラボレーションの実施

## 【パッケージゲーム】

- 主力IPタイトルを中心に人気シリーズの最新作を投入予定  
『世界樹の迷宮V 長き神話の果て』(8月)、『初音ミク -Project DIVA- X HD』(8月)、『ペルソナ5』(9月)

## 【AM機器】

- 『艦これアーケード』等を中心とした、レベニューシェアタイトルによる継続的な収益貢献を見込む
- 『StarHorse3』シリーズのCVTキット『StarHorse3 SeasonIV Dream on the turf』を販売
- カジノ機器開発や販売に向けた先行費用が発生

## 【AM施設】

- 引き続きプライズを中心とした施設オペレーションの強化に取り組む
- 『艦これアーケード』等のビデオゲームによる収益貢献に加え、自社製品の新作タイトル等の導入により、収益性の向上を目指す

## 【映像・玩具】

- 劇場版『名探偵コナン 純黒の悪夢 (ナイトメア)』の配給収入を見込む
- 映画『それいけ!アンパンマン おもちやの星のナンダとルンダ』を公開
- 夏季商戦に向けた定番・主力の製品やサービスを中心に展開

**リゾート事業**

(億円)		2016年3月期			2017年3月期				
		第1四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	前年 同期比	第2四半期 累計計画	通期計画	前期比
売上高		34	74	163	26	-24%	70	160	-2%
営業利益		-5	-12	-18	-8	-	-15	-25	-
営業利益率		-	-	-	-	-	-	-	-
フェニックス・ シーガイア・リゾート	利用者数 (千人)	131	287	571	92	-30%	272	570	-
	客単価 (円)	15,883	14,912	15,845	16,127	+2%	15,415	16,902	+7%
東京ジョイポリス	利用者数 (千人)	148	395	687	151	+2%	372	650	-5%
	客単価 (円)	3,489	3,466	3,545	3,538	+1%	3,578	3,723	+5%
オービィ横浜	利用者数 (千人)	73	194	323	64	-12%	232	371	+15%
	客単価 (円)	2,444	2,421	2,282	2,632	+8%	2,079	2,050	-10%
パラダイスカジノ仁川 ※	カジノ売上高 (10億KRW)	26	51	95	21	-19%	-	-	-
	利用者数 (千人)	13	24	48	11	-15%	-	-	-

※「パラダイスカジノ仁川」は当社持分法適用関連会社である「PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd.」により運営、  
 ※「パラダイスカジノ仁川」の数値は3ヶ月遅れで計上

**<第1四半期実績>**

- 『東京ジョイポリス』において20周年イベント等開催により利用者数増加
- 『フェニックス・シーガイア・リゾート』において平成28年熊本地震の影響により、宿泊、ゴルフ、宴会などの一部キャンセルが発生

**<今後の見通し>**

- 『フェニックス・シーガイア・リゾート』において、『シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート』の客室やフロントエリア改修を完了し、リニューアルオープンを予定。  
 また、『九州ふっこう割』の影響により予約状況は改善傾向
- 『東京ジョイポリス』、『オービィ横浜』の各種施設稼働向上に向けた施策を実施

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。